



森産業株式会社

われ農夫の祈りに開眼す 業界を牽引するきのこ研究のパイオニア

1943年の創業以来、きのこ研究のトップに立ち、きのこ種菌・菌床の製造販売や生産者への支援など、あらゆる分野できのこ業界に貢献する森産業（森裕美社長）。創業者の森喜作はきのこ研究のパイオニアであり、国内きのこメーカーの黎明期に技術支援したケースも少なくない。桐生商工会議所の初代会頭を務め、地域経済を牽引した2代目森宗作の下に生まれた喜作。大学の卒業論文の研究調査で訪れた大分県の山村で、老農夫が椎茸の原木の前で胞子の自然付着を祈る姿を目の当たりにする。失敗すれば一家離散が免れない、その光景に胸を打たれ研究に没頭した喜作は、困難の末に世界初の純粹培養菌種駒法を発明し、確実に椎茸が出来る技術を完成させた。

われ農夫の祈りに開眼す。

その翌年に設立された森産業の創業の志として、同社に建つ喜作の銅像にも刻まれる。

生産者への救済を原点到、1974年には国際食用きのこ会議を桐生に誘致するまでに社業を発展させた。世界40カ国から集まったきのこ研究

者たちは、会議のために建設された国際きのこ会館のユニークさや、喜作の行き届いたもてなしに深い感銘を受けたという。

カレーやパスタソースなど、きのこを使ったレトルト食品は早い時期から商品化し、さらに最近ではきのこ栽培を楽しめる「もりのきのこ農園シリーズ」も話題を呼んだ。一般消費者向け商品も精力的に展開し、きのこを通じて人々に喜びを提供する森産業。長年にわたる研究の成果は、バイオテクノロジーなど食品以外にも幅広い転用が模索され、桐生から農林水産業界をリードし続けている。



【森産業株式会社】

- 住所／桐生市西久方町1-2-23
- 電話／0277-22-8191
- HP／www.drsmori.co.jp